



第 466 回 11/5 (火) 『大和南京玉すだれ&ジャグリングクラブ』

出演 会長 村田正和さん (ラッキーさん)
副会長 樋田 稔さん (ミノさん)

当初「大和南京玉すだれ演芸の会」として活動していましたが、ジャグリングも加わって、団体名を上記のようにしました。メンバーにはマジック、ジャグリング、舞踊、新日本舞踊、琉球舞踊など多様な方がいます。ラッキーさんは 20 年ほど前、大和公園横に大和市民活動センターがあったころ、カッコーフェスタを開いているのに出会った。ボランティア活動をやってみようと思って、団体登録をしました。ミノさんは広報で南京玉すだれの会の募集を見たことがきっかけで参加された。ラッキーさんは、市民活動センターに



団体登録する前に、中央林間でも活動を少ししていたので活動歴は 20 年以上になります。その間に、生徒さんが町田、厚木、八重洲、鎌倉などで教室を開き、また芸能人、アイドルなども来られたとか。市民活動センターやボランティアセンターからの依頼も入り大忙し！シリウス 8 周年記念のイベントにピエロ系と血回しで参加しました。お二人は市民活動センターの交流カフェにも参加いただいています。

*今回から『やまとっこ☆みつけた』の担当は、“まちだまあち”さん。これからどうぞよろしくお願いします。

☆12月の出演 第468回 12/3 myselfours 第469回 12/17 神奈川探龍倶楽部
FMやまと 77.7MHz 第1.3.5(火) 生放送 9:00~9:30 同日再放送 15:00~15:30

第 467 回 11/19 (火) 『拠点やまと』

出演 会長 望月則男 副会長 関根孝子

「大和市民活動センター」は今期「設立 20 周年」を迎えます。組織的に言うと大和市「市民活動課」と市民団体「拠点やまと」が大和市協働事業として「大和市民活動センター管理運営事業」を行っています。

もともと、市のアンケート「活動を広げて行くために何が必要ですか？」に大きく 3 つが回答されました。

「人材が足りない」、「資金が足りない」、「場所がない」…この中の「場所がない」について今の「大和市民活動センター」が誕生しました。「人材が足りない」「資金が足りない」に対しても「ともに育ちあい、みんなで一緒に解決しよう!」、「市民活動をひろげよう!」を合言葉に知恵を出し合い市民活動の推進を図る活動をしてきました。

「ここにきたら、なにかができる…きっとなにかがうまれる」

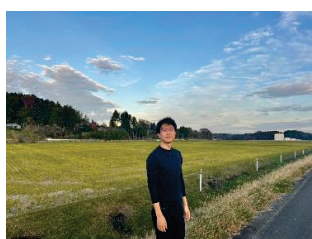
「ここにくるとだれかにあえる…ここにくるとだれかとつながる」

皆さん、気楽にお立ち寄りください。なお、本日は都合によりパーソナリティ町田さんに代わって前担当の今城さんが代行をしてくださいました。



TSUBASA's トーク 第37回 東北旅行

11月の中旬、祖母と母、妹と、東北の紅葉・温泉をめぐる旅行に出かけた。訪れたのは、協力隊生活で故郷となった岩手一関、宮城の鳴子温泉と溪谷、伊豆沼、秋保温泉だ。



鹿児島から来た祖母は、もともと私の協力隊の活動を聞いていたこともあり、「田舎者だから」と僕がお世話になっていた方々にお礼を伝えに行きたいと話していた。また僕自身の仕事のモチベーションも、祖母を旅行に連れていくことにあったので、夏から旅行を計画してようやく実現できることになった。

一関では馴染みの集落の方々に、家族が初めて顔をあわせた。母は遠慮がちになって「母(祖母)が移動で疲れていますので」と、集落の方々との会話を切り上げようとするが、集落の方々は遅れてきた僕たちに対しても歓迎してくださり会話が途切れられない。集落に移住してきた方もいるのだが、もとは関東圏に住んでいたことや協力隊時代の僕が冬に凍えていたことなどをずっと話している。地域ごとに住む人たちの性格に違いを感じることも



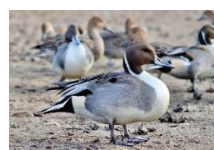
もあるが、祖母の地域では遠慮がちなのが大事で、一関ではオープンに歓迎する雰囲気があるように思う。首都高を運転してくれた妹も「こんなに優しく迎えてくれたら何度も通いたくなるわ」と、僕の図々しさに納得してくれたようだった。

紅葉もさすが鳴子峡。白い岩肌に赤黄オレンジ緑をまぶしたようで綺麗だった。神奈川よりも2、3週間ほど早い紅葉で、車を運転して山を登り始めたころから色づいた木々がみえ始め、北のほうまで来たことを実感した。

紅葉した木を近くで見ようと祖母は山肌を鹿のように登って行ったり、妹も一面のカエデの落ち葉の中を走り回って巻き上げたりしていた。思い返せば僕も落ち葉の上に寝転がったりして目立っていたかもしれない。

鳴子峡はひと昔前、土地の隆起と流れる川の浸食で、凝灰岩を多く含んだ土地が谷になっていくことで作られたらしい。晴れた空の奥まで山々が続いて見えて、色々なことに恵まれた日だった。

冬の近づく伊豆沼には、北国からの渡り鳥が無数にいて、中には近づいて観察できる場所もある。白鳥やカモは普段から餌をもらっているのか、人が近づいても全然逃げない。祖母は足元に群れるカモをみて、「かわいい～」と口癖のように言っている。そういえば道の駅で小動物のお土産を見たときも、高速道路のサービスエリアで幼児が目の前を横切ったときも、同じように少し高い声で



ゆっくりと言っていた。祖母の声は、僕が覚えている20年以上前から変わっていないと思う。ようやく実現した東北旅行。祖母と母、妹に楽しい思い出をしてもらえて本当に良かった。

サポーター 尾畑 翼

大和市民活動センターは「大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例」に基づいて設置されています。

「あの手 この手」 第 209 号 発行日：2024 年 12 月 10 日 発行：大和市民活動センター 拠点やまと

大和市民活動センター <開館日 月～土 9:00～18:00>
<休館日 12月29日～1月3日・毎月第3月曜日>
〒242-0018 大和市深見西 1-2-17

TEL:046-260-2586 FAX:046-205-5788
e-mail:yamato@ar.wakwak.com
http://www.kyodounokyoten.com/

あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決!

あの手 この手

あの手この手のマークの間のSは solution (解決) のSです。

第209号 2024年 12月10日 大和市民活動センター[拠点やまと] 発行

12月号
2024

ペテルギウス玄関
12月4日の生け花



表紙絵は「やまと国際フレンドクラブ(IFC)主催
やまと国際アートフェスタ 入賞作品を
毎号掲載しています

今年(第17回)の テーマ
守りたい、平和な世界

やまと国際フレンドクラブ賞受賞
林 樂希 さん(中国)

大和東小学校 3年生

ひとことメッセージ

はじめて、このやまと国際アートフェスタに参加して、まさか「やまと国際フレンドクラブ賞」に選ばれて、とてもうれしかった。

保護者からの一言

子供が日本に来てから初めてアートフェスタに参加するなんて、本当にわくわくして楽しかった。開催の間、スタッフの温かいおもてなしと丁寧な解説にも感謝します。

☆「やまと国際アートフェスタ」は、「やまと国際フレンドクラブ」(IFC) *の主催で毎年開催されています。

*「IFC」は、草の根の国際交流、外国人支援を行っている、「ともにくらすまち大和」を考えるボランティアグループです。

大和市民活動センター第17回 カッコーフェスタ
活動交流まつり 「ペテルギウスまつり」の一環
日時 2024年 12月 15日(日) 10~13時
場所 ペテルギウス館内 << 参加団体 >>



WE21ジャパンやまと	チャリティショップ、リユース・リサイクル活動・フェアトレード推進
泉の会	ボールペンの書き方教室 部室238 にて
梅宮ぶんと「いちょう団地」のゆかいな仲間たち	唄って踊ってゆかいな仲間!
がくいきの会	子どもの遊び(的当て、皿回し、ルービックキューブ等)
カトレア会 フラワー粘土教室	作品販売と粘土の体験講習
ハッピーウィンズ	キットパスで風船に自由に絵を描いてもらいます
パン工房麦の香り 障がい者自立支援たんぽぽ事業所	私達の活動を紹介します!「麦の香り」の焼立てのおいしいパン!
モチモチ文庫	和やかな雰囲気です「読み聞かせ」をします
ヨガサークル・プラナ	やってみよう~♪ ヨガの体験「かんたん椅子ヨガ」

結まる	「おすわりサンタ」を作ろう!!
血管ケア de メンテナンス	楽に歩ける歩き方の伝授
市民文化交流事業推進委員会	アクセサリ、フラワーアレンジ、サンタ人形などの販売
食のアトリエ	「紙芝居」だよ~♪ いっぱいしゃいっぱいしゃ~い
造形部 ♡ -mama	手作り「Xmasオーナメント」の販売
大和たんぽぽの会	子育て中の親子みんなで ほんとにできる居場所「子育てほんとサロン」
大和市手をつなぐ育成会	知的、発達障害児者が安心安全に地域で生活できる様に!
大和地区日中友好協会	活動紹介の展示、バザー
大和南京玉すだれ & ジャグリングクラブ	いっしょに楽しく! にぎやかに♪
地域を明るくするリハビリテーション専門職の会大和	「身体測定」と「身体の悩み」相談
日本ケアトランポリン普及協会	「ケアトランポリン」やってみよう~♪ 体験会
歴史工房やまと	「あなたのファミリーヒストリー」を書いてみませんか

大和市民活動センター

共育（ともいく）セミナーのこれまでの歩みを振り返り、今思う

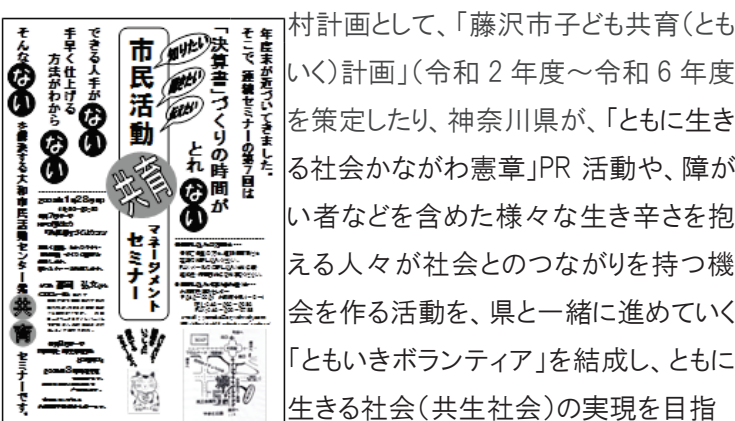
○ 共育（ともいく）セミナーを振り返る

共育セミナーは、2007 年 2 月、「市民活動共育マネージメントセミナー」としてスタートした。

これから市民活動を始めたい、NPO 法人を立ち上げたい、そこまでいなくても活動する人を応援したいという人たちのために、ノウハウ、基礎を伝達するために、スタッフがいろいろな伝手を頼ってその道の専門家においでいただき、講義とワークショップを展開した。毎回活気に溢れた場であったと記憶している。

共育は「きょういく」ではなく、「ともいく」と読ませ、市民活動にかかわる、あるいは NPO をこれから起こそうという人たちあるいは仲間を応援することによって、「ともに育っていこう」という意味が込められていると勝手に思っている。

藤沢市が、子どもの貧困対策の推進に関する法律及び子ども・若者育成支援推進法において、努力義務とされている市町村計画として、「藤沢市子ども共育（とも



いく)計画」(令和2年度～令和6年度)を策定したり、神奈川県が、「ともに生きる社会かながわ憲章」PR 活動や、障がい者などを含めた様々な生き辛さを抱える人々が社会とのつながりを持つ機会を作る活動を、県と一緒に進めていく「ともいきボランティア」を結成し、ともに生きる社会(共生社会)の実現を目指します、としている。このような取り組みの表記に「ともいく」という表現があるけれど、「ともいく」を標榜したのは、大和市民活動センターが先駆であったと誇りに思っている。

○ 「ともいく」に込められた想い

ともいくセミナーは、当初、「自分たちの活動が伝わらない」を考える」連続セミナーとして「市民活動って何？活動をしている人の話を聞きたい！こんな活動をしているから伝えたい！」を共有するためのマネジメント連続セミナーとしてスタートした。

だから、ただ講師の話を聞くだけではなく、市民活動を起こすにあたり、「自分が持っている、わからない」を解決して、ともに育って行こうという想いがこもったネーミングだったのだ。

このときにテーマだった、「仲間づくり・資金作りはどうしたらいいの」、「団体の会計処理はどうしたらいいの」、「どうしたら効果的なリーフレットができるの」、「NPO法人をつくったらどういうメリットがあるの」、「補助金の申請



はどうすればいいの」といった問いは普遍的にある。こういう声に、私たちは、「それはね...」って応えていく責務を負っている。

○ 社会に開くってどういうこと？

市民活動によって、「なにか社会に貢献したい」、「当事者である私が困ったことを同じ境遇の人に伝えたい」、「自分ができることで、他の人を癒したい」、「活動の記録を写真や動画に記録できます」、「活動の様子を文章にできます」などなど、たくさん社会貢献につながる。でも、どうやったら「社会に開ける」って正解はない。なんでも一人でできることって限度があるじゃない。



○ こどもまんなか政策が実効を産むか

こども家庭庁が、2023 年 12 月に定めた「こども大綱」に、「こどもまんなか社会」とは、「すべてのこども・若者が、日本国憲法、こども基本法及びこどもの権利条約の精神にのっとり、生涯にわたる人格形成の基礎を築き、自立した個人としてひとしく健やかに成長することができ、心身の状況、置かれている環境等にかかわらず、ひとしくその権利の擁護が図られ、身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態（ウェルビーイング）で生活を送ることができる社会である」と表記している。

この「こどもまんなか社会」の実現のため、国、行政、そして社会のおとながどれだけ真剣に動いているだろうか。いま本当に取り組まなければ、環境、平和といった問題に一番傷つき、不利益を被るのは、未来の世界

を担う今のこどもたちである。

○ 差別の問題

林間文化会館(のちの学習センター)勤務時代、人権に特化した連続セミナーを企画実施したことがある。そのプログラムは①アイヌ民族への差別問題を理解するために当事者をお呼びした。②在日韓国・朝鮮の人たちへの差別の問題で、川崎市ふれあ



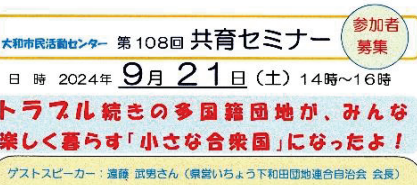
い館のペー・チュンドさんをお呼びした。③アパートヘイトを描いた映画「遠い夜明け」を上映。といったものだった気がするが、ぼくがリスペクトしていた、大阪府枚方市の公民館長、渡辺義彦さんにこう言われた。「船越さん、人権は正面切ってテーマにしてはだめ。うまくテーマの根底に流さない」と。貴重な示唆であった。

差別問題は、現在も「ヘイトスピーチ」、「SNS を通しての匿名の非難中傷」、「学校でのいじめ」など、幅広い人権問題として多くの人を悲しませている。



○ 多国籍が大和市の特徴

2023 年 12 月末日現在、大和市には、88 の国と地域 8,044 人の外国籍住民が登録していて、大和市の特徴としては、人数が多く、人口に占める割合も高い「外国人集住地域」であること。多様な国籍と在留資格の方が住んでいて、地域の活力に一役買っているが、言葉や文化の種類も増えるので、情報提供や相互理解を図るのが大変であること。そのうち、約 50%が永住(特別永住者を含む)で、一時的に滞在しているのではなく、これからも長くともに暮らす地域の一員であることを「あの手この手」10月号で紹介した。世界的にナショナリズム的考え方が台頭する

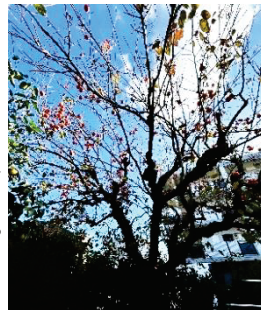


○ 多様性を包摂する社会の実現が大切

2022 年 7 月の共育セミナー「福祉施設におけるアート活動の実践」と「その実践が社会と出会うということ」のトークセッションスピーカーの一人、萩原美由紀さん(社会福祉法人アール・ド・ヴィーヴル理事長)が、今年国府津で開催されたマルシェの中での中津川浩章さん(美術家)との対談で話されたことだが、胸に響いた。この日ぼくは、アール・ド・ヴィーヴの多機能型事業所に通う女性のフィギュア作品を購入したのだが、萩原さんは、対談の中で「この子はほぼ口をきかないの」と話された。「でもこの子は話せないのではないの。この子は、自分の気持ちを伝える手段として、自分の気持ちを伝えるには不完全な機能しか持たない言語という手段ををえればアートという自己表現方法を選択しているのです」と。

○ 柿要りませんか？

ぼくの家には、ぼくの健全な成長を願って母が植えた柿の古木がある。多分樹齢 50 年くらい。その木に毎年甘い実がなる。



今年は猛暑のせいで、色づきは遅く、実も小さめだが、大量になっていて、ぼくは毎日、柿を配り歩いている。近所を見るところにいる実を取らず、そのまま熟して鳥が食べてなくなってしまうおうちも多い。それをなんとかしたいと思った茅ヶ崎市のこどもがいる。「もうお世話できないなら、私たちが代わりに取って、ジャムとか作れないかなあ」。ほかにも、柚子やキウイ、レモンとか果樹があるだろう。たぶんこんなところに市民活動の種が転がっている。

文責・写真：船越英一、イラスト：望月則男

11月の展示コーナー

市民交流スペース内の「展示コーナー」では、個人・団体の活動の紹介や作品展を行うことができます。申込み方法については、大和市民活動センターまでお問い合わせください。

IFC やまと国際フレンドクラブ



共育ボードより

★楽しそうですね!オオミズアオが(ほかの虫も)とてもきれい! ★おもしろそうで良いですね!行ってみたいです! ★繭から糸ができるんだ〜。ガを初めて見ました。立派でビックリ! まゆから糸作り〜貴重な体験ですね。たくさんの活動素晴らしい!!! ★すばらしい!!!カイコは頭と数えるのですね。深鳥さんこれから楽しみにしています。★ドキドキしますったのしろう ★深鳥さんすごいわ ★全部すごい!!ちようちやがキレイですごい!!

ひまわりの会



共育ボードより

★マリーちゃんかわいいーちゃんとこまかくできて ★ステキ ★まりーちゃんかわいいーうまいね ★うまいね ★コレスゴイ 6さい ★立体感がうまいめ! ★ミッキーがりったいできすぎてすご! ★スごいね。まりーちゃん ★素敵です ★マリーちゃんのえうまいしかわいいですね! ★おしりぷりぷりですね(うそ) ★ステキ ★マリーちゃんかわいいし、マリーちゃんわたしもかきたい ★すてきでかわいいです ★すてき!! ★うまいね ★すごいねみきいがそらとんでる♡ ★ねこかわいいね ★とてもすてきでかんどしました ★へびがうかびあがってるみたい! ★またかいてほしいです ★みんなの絵うますぎます! ★自分もやってみみたいです ★カッコいいーとてもステキです!すごい! ★みんなえうまい!わたしもかいてみたいです ★かわいい。トナカイさん♡クリスマス♡ ★すごいね。かわいいね ★ひまわりすてき ★すご!! こんな作品いつかつくってみたい!! ★すてきだね。なつまつりみたいだね ★絵みんなうまいですね ★切り絵素晴らしいです。盆踊りの好きです。★素敵な作品見せて頂きました。ありがとう ★どれも素晴らしい作品!見ごたえがあります。皆さん、がんばれ! (以上抜粋)